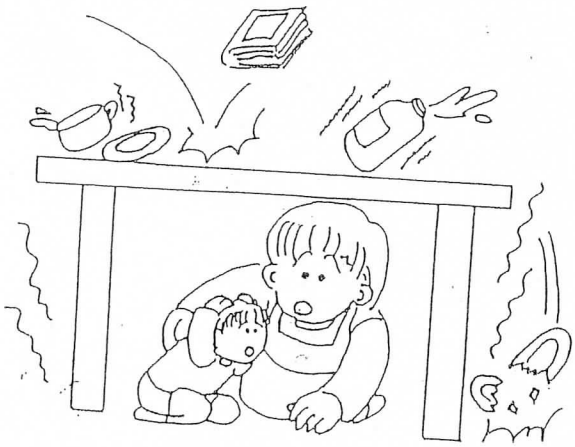
透析室災害対策マニュアル

（災害時におけるスタッフの対応マニュアル）



透析施設名　医療法人社団こやま会
こやまクリニック
所在地　東京都国分寺市本町 3-7-28
電話番号　042-328-0035

火災発生時の対応

1）火災発見者は、大声で周囲に知らせ、火災報知器のボタンを押し、消防署へ連絡する。
また、火災発生場所、状況を知らせる。

2）消火器により初期消火を行う。
炎が天井まで燃え移ったら初期消火をあきらめ、避難をする。

3）火災報知器が作動した場合には、火元の場所を確認する。
患者にはパニックにならないよう状況を説明する。もし誤報であれば、その事を患者に知らせる。

4）避難誘導担当者は、避難方向や避難方法を決定する。

5）避難に時間的余裕がある場合は、早急に返血をし、速やかに避難行動をさせる。

6）避難に時間的余裕がない場合、返血はせず、血液ポンプを止め動・静脈回路を束ねペアンで２ヶ所を遮断してその間をハサミで切断して腕に固定したまま避難させる。

7）歩行不能者は、車椅子や担架、または毛布にくるみ床をひきずって移動させる。階段がある場合は、おんぶで移動させる。
（避難にエレベーターは使用しない）

8）避難場所では、必ず患者名を控え、患者数と照らし合わせ避難状況を確認する。

9）その後、留置針を抜き止血し、負傷者があれば手当てを行う。

日常の火災対策

消火器、避難口、避難経路の確認を行い、またこの付近に物品を置かない。
定期的に、防火非難訓練、非常持ち出し品の点検を行い、一時集合場所・避難場所を決めておく。
「緊急離脱セット」を各ベッドに配備し、定期的に「緊急離脱法」の講習を行う。
通報、消火、避難誘導、非常持ち出し等、分担を決めておく。

地震に対する対策

1　耐震

・透析機器・供給装置・タンク等の固定をする。
・水・透析液関係の配管の接続は柔軟性をもたせる。
・ボンベ類は架台に置くか鎖で固定する。
・薬品・器材・材料の戸棚は壁などに固定する。
・危険物、引火性物質は特定貯蔵場所に保管する。

2　訓練

スタッフ　・避難時の業務分担（指揮・避難誘導・非常持ち出し等）を決定しておく。
・緊急離脱法を全員習得する。
・ガス・水道の元栓、電気の配電盤の位置・取り扱い方の確認をする。
・消火器・消火栓・避難器具の操作法と非難口・避難経路・避難場所を自ら確認する。
・防災避難訓練・緊急離脱法の講習を定期的に行う。
・非常持ち出し物品の点検を行う。

患者　・ペアンの操作、留置針の抜去・止血の指導を行う。
・スタッフの指示により行動を起こすよう訓練や講習に参加してもらう。

その他　・救急薬品、非常用備品のチェックをする。
・患者、スタッフの連絡網の整備、電話不通時の連絡方法をとして携帯電話による連絡。

透析不能となった場合のために

患者を透析可能な地域の施設に依頼する場合の対応を検討しておく。
（各施設への連絡方法、受け入れ人数の確認、移動手段、病歴や透析記録の作成など）
患者に「透析患者カード」を作成し、つねに携帯してもらう。

地震発生時の対応

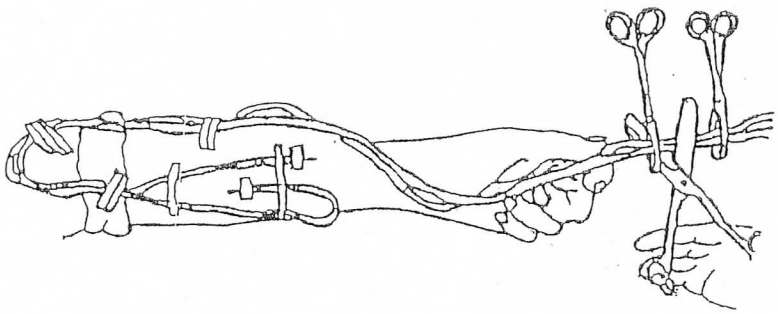
1）地震発生時、使用している火気を消す。
2）スタッフは速やかに患者のベッドサイドに付き添い、透析機器・ベッド・スタンドを押さえる。
3）患者には留置針が抜けないように血液回路を握ってもらい、毛布をかぶるなどして落下物から身を守らせる。
揺れの大きい場合、ベッドから転倒する事があるため手すりなどを握ってもらう。
余裕があればベッドのしたにもぐるよう指示する。
4）揺れがおさまった後、担当医師の指示により透析を中止するか判断する。
5）早急に避難が必要な場合、緊急離脱法により透析を中止し、患者の避難誘導をおこなう。

地震発生時に予想される被害

ガス・電気・水道・電話の停止、ガス漏れ、水漏れ
透析機器の移動、転倒、破損
原液タンク・給水パイプ・水処理装置・透析液供給装置・透析液配管等の破損
各種戸棚の転倒、物品の散乱、ガラスの飛散
壁・柱の亀裂、天井材の落下
患者の留置針の抜け・出血、ベッドからの転倒
消毒・滅菌機器の使用不能

血液回路からの離脱方法

「緊急離脱法」



大規模地震後の対応

1　電気について

電気の早期復旧に向け、電力会社と交渉する。

院内の電気配線の点検を業者に依頼する。

2　水の確保

配管に破損がないか点検する。破損があれば修理依頼する。

一人の透析者に要する水の量（処理水として）は、120 ﾘｯﾄﾙである。

（透析液流量 500ml/min で４時間透析の場合）

この他に洗浄・消毒にも水を必要とする。

3　透析用材料の確保

各メーカーから緊急搬送してもらう。

4　スタッフの確保

夜間の場合、「緊急連絡網」でスタッフを招集する。

自宅にいた場合、可能なかぎりクリニックに集まる。

飲料水、食料を確保する。

5　建物関係

建物の壁や柱、天井にひびや亀裂が入り危険と思われる場所の立ち入りを禁止して、建物の補修を依頼する。

6　外部からの患者受け入れについて

外部からの受け入れ体制をとる。

「外部受け入れ患者透析記録」を作成する。

7　当クリニックの患者の把握

当クリニックの施設・設備の復旧の見込みがたったら患者に連絡をする。

（電話、ラジオ等）

当クリニックに来られる患者、他院で透析をする患者、連絡のつかない患者を把握し、また、連絡のとれた患者の所在（避難先、避難場所、連絡先等）をはっきりさせ、それを「当クリニック患者安否一覧」にまとめる。

停電時の対応

1　透析機器がすべて停止し、照明も消える。（夜間は懐中電灯を使用する）
2　電力復旧後の透析液濃度異常を考えて透析液供給装置の主電源を切る。
3　抗凝固剤を追加注入し、透析機内臓電力にて血液ポンプをゆっくり回す。
　　（約４５分間ポンプ稼働可）
4　電力会社に復旧のめどを問い合わせる。
5　１５分をめどに電力の復旧が見込めない場合、順次返血をする。
6　電力復旧後、不足分の透析を行うか、検討する。

「透析患者カード」作成例

災害時透析患者カード

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日　19　　年　　月　　日
年　　齢（　　歳）　性別（男　　女）

私は慢性腎不全の為、人工透析で治療を受けている患者です。もし私に何らかの異常があった場合は、最寄りの救急医療施設に運んで下さい。又、下記の連絡先にご連絡を宜しくお願い致します。

◉自宅住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話番号（　　）　　－
◉緊急連絡先　氏名＿＿＿＿＿＿続柄（　）
住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話番号（　　）　　－
◉透析施設名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話番号（　　）　　－
◉ブロック名【　　地区】
◉血液型（　　）　Rh（　　）

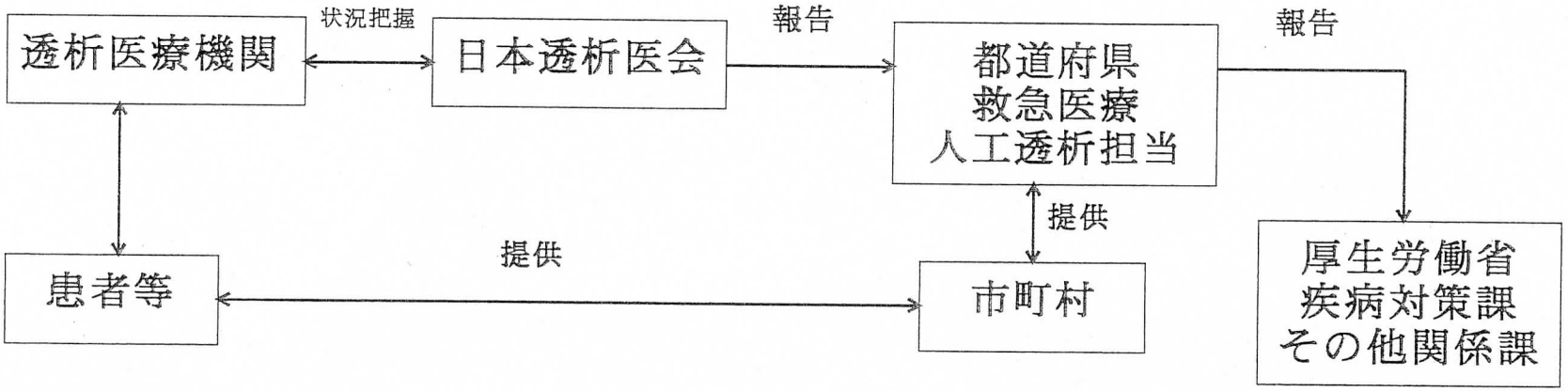
三多摩腎疾患治療医会
災害対策委員会

◇健康保険被保険者証＜高齢9割・高齢8割・本人・家族・乳幼児＞
保険者番号　　記号・番号
◇老人保健法医療受給者証
市町村番号　　受給者番号
◇特定疾病療養受給者証（老人含む）（有　・　無）
◇障都等の公費医療受給者証（医療券）
負担者番号　　受給者番号
負担者番号　　受給者番号
負担者番号　　受給者番号
◇その他の医療券

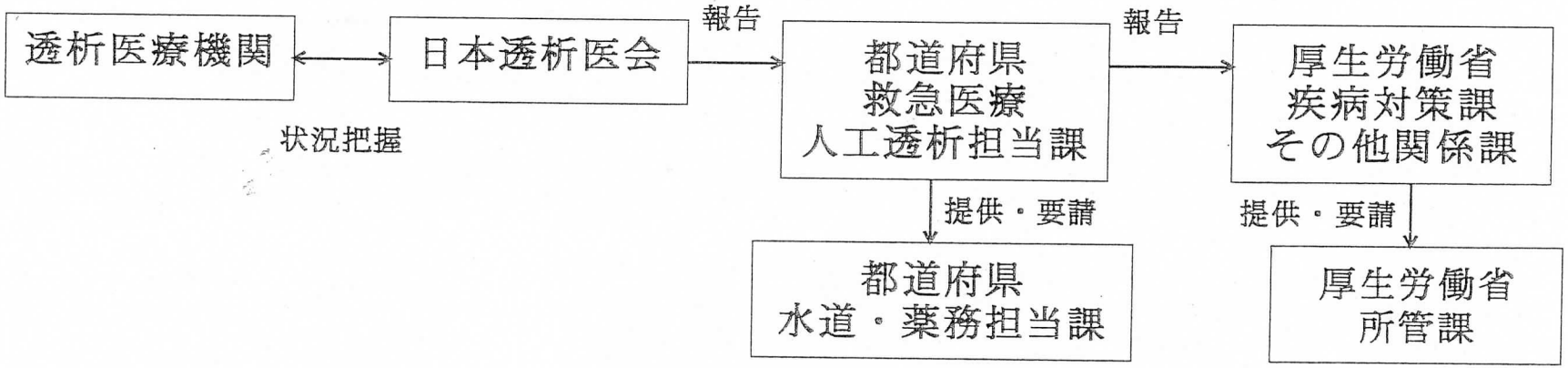
◉原疾患
◉透析導入年月日
※次の項目からは、内容を変更する場合がありますので鉛筆等で書き入れてください。
◉基礎体重　　kg
◉透析日／週：月・火・水・木・金・土（昼・夜）
◉透析時間
◉透析器　　膜面積　　m^2
◉血流量　　ml/min
◉ブラッドアクセス（右・左）（前腕・上腕・その他　　）
◉針の太さ（A）　ゲージ　（V）　ゲージ
◉抗凝固剤（ヘパリン・低分子ヘパリン・FUT・その他　　）
◉抗凝固法（全身・局所・単回・その他　　）
◉初回　　IU・mg　◉持続　　IU・mg/hr
◉終了　　分前中止
◉注射剤

人工透析の提供体制

＊情報収集及び連絡



＊水・薬剤等の確保



緊急連絡先一覧表　1

業　種	会社名　　法人名	電話番号
電力会社	東京電力　立川営業所	0120－995－662
電気工事(TEL配線)		03－3861－5301(代)
電気工事(その他)		
水道	国分寺市役所環境部水道課(24h OK)	042－325－0111(代)
水道工事		
NTT		局番なし　116
ﾊﾟﾜｰﾄﾞｺﾑ(ﾏｲﾗｲﾝ)	(旧東京電話)　9時～18時	0120－719－091
ガス	東京ガス	0570－002211
	携帯・PHSより	03－5722－3111
		03－5374－4575
ガス機器(修理)	ｴﾈｽﾀ国分寺	042－321－3135
セコム	ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	0120－10－0024
	警備担当　東京本部　国立営業所	042－576－2247
警察署	小金井警察署(042-381-0110)	110通報
消防署	国分寺消防署(042-323-0119)	119通報
透析機器メーカー		
水処理装置		
医材料		

お客様番号

警察について→所轄の小金井警察へ連絡をするより、国分寺市は無線にて出動するの
110番通報の方が、迅速に対応できます。

＊火災時等の自動通報装置について→119番へ自動的に発信します。その後に消防庁より
1階事務室の機器へ電話が入りますので、受話器を取り対応する。
通報後にもっと人員が必要と判断されたら、1階の自動通報装置の7番(119通報)スイッチを
再度押して連絡をとること。(消防庁・国分寺消防署より)

＊セコム及び自動通報装置について→全ての処理が終わりましたら再度設定開始のリセットを
必要があります。この作業をしないと各機器は正常に作動しません。

緊急連絡先一覧表　2

業　種	会社名　　法人名	電話番号
医師会	国分寺市医師会	042－322－4338
都庁		
市役所	国分寺市役所　まち安全課	042－325－0111
防火器具警報機	セコムへ連絡	0120－10－0024
空調機器	東京ガス	03－5722－3111
建物全般		
エレベーター管理	セコムへ連絡	0120－10－0024
	（三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ）	042－521－1194
テレビ局		
ラジオ局		
新聞社		
近隣病院		

外部受け入れ患者透析記録

氏　名　（ふりがな）	性別	生年月日	所属施設名
	男 女	MTSH 年　月　日	

住所・電話番号	非難先・避難場所・電話	健康保険の種類
（　　）　－	（　　）　－	

原疾患・合併症	ブラッドアクセス	出血傾向	アレルギー
	（右 左 内 外）	有 無	有 無

血液浄化法	ダイアライザー（面積）	血液流量　ml/min
		透析日　月 火 水 木 金 土
		透析時間　時間

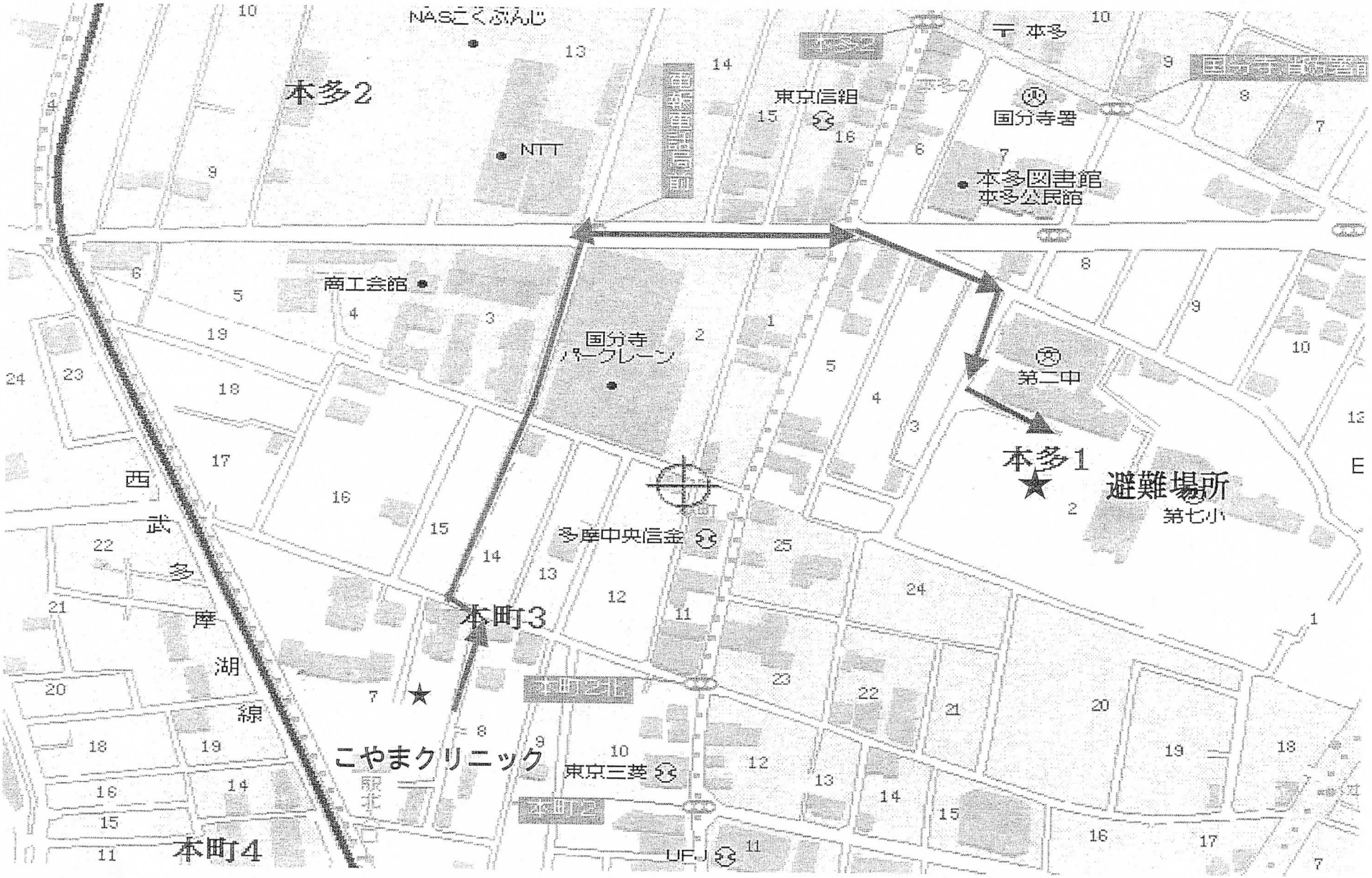
抗凝固剤	初回量	禁忌薬	持続注入薬
U	U/hr		

血液型　Rh（　）	Hbs-Ag（　）　Hbs-Ab（　）　HCV抗体（　）　ワ氏（　）
終了時注入薬	定時薬
ドライウエイト　Kg	透析液濃度等

備考

当クリニック患者安否確認表

氏　名	安否確認	避難先・避難場所・TEL	他院で透析の場合・病院名　TEL


NASこくぶんじ
本多2
NTT
東京信組
国分寺署
本多図書館
本多公民館
商工会館
国分寺
パークレーン
第二中
本多1
避難場所
第七小
西武多摩湖線
多摩中央信金
本町3
こやまクリニック
東京三菱
UFJ
本町4